

地域 BCP(業務継続計画)を考える

～地域のつながりで災害を乗り越える～

頻発する災害に備えた自所属の BCP が機能するためには、地域の関係機関とのつながりでつくる「地域 BCP」が重要となります。地域全体でつくる「地域 BCP」について、一緒に考えてみませんか？



講師 山岸 暁美 氏

(一般社団法人コミュニティヘルス研究機構 理事長・機構長
／慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教室)

日本赤十字社医療センター勤務後、渡豪し小児病院/総合病院に勤務。帰国後、2000年～訪問看護に従事。07年～厚生労働省戦略研究「緩和ケア普及のための地域介入研究(OPTIM-Study)」プロジェクトマネージャー/東京大学医学部客員研究員。09年～厚生労働省入省、診療報酬・介護報酬同時改定などに携わる。16年8月～現職および訪問看護に従事。令和3年度厚生労働省特別研究「在宅医療機関のBCP策定に係る研究」研究代表者、令和4～6年度在宅医療提供機関のBCP策定専門委員会委員長、令和2～6年度厚生労働省医政局事業 E-Field HOME 研修タスクフォース長等、政策と研究と現場を繋ぐタスクを多数務める。

日時

9月20日(金) 14:00～16:00

場所

① 鎌倉保健福祉事務所 1階講堂 (定員 30名)

(鎌倉市由比ガ浜 2-16-13)

※研修会参加者用の駐車場はございません。

近隣コインパーキングをご利用いただくか、公共交通機関をご利用ください。

② ZOOM オンライン会場 (定員 50名) ※いずれも申込み順

対象

鎌倉市・逗子市・葉山町の

医師会、医療機関、訪問看護ステーション、

居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、

市町健康づくり・障害福祉・介護保険・防災関係部署 等

お申込みは
9月11日(水)まで



お問合せ

鎌倉保健福祉事務所 保健予防課

電話 0467-24-3900